

感染症情報 1月6日～12日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1126例(堺市	52例)
②溶連菌感染症	415例(堺市	50例)
③水痘	107例(堺市	7例)
④伝染性紅斑	103例(堺市	5例)
⑤RSウイルス感染症	96例(堺市	5例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 5685例(堺市 535例)

が報告された。感染症報告数は前週比286.2%増(前々週比28.5%減)の2,043件であった。

感染性胃腸炎は府下で前々週の12月23日から29日までと比較して(以下同じ)29%減、堺市では59%減であった。溶連菌感染症は府下で同30%減、堺市で66例→50例であった。水痘が府下で同10%増、堺市で3例→7例であった。伝染性紅斑は府下で同4%増、堺市で8例→5例であった。RSウイルス感染症は府下で同32%減、堺市で6例→5例であった。

インフルエンザは5685例で、定点当たり18.89であった。堺市は535例で、定点当たり18.45であった。新学期も始まっており、急拡大が懸念される。

堺市教育委員会公表の16日正午現在の学年閉鎖は<中区>八田荘西小1年、深阪小2・3年、学級閉鎖は<堺区>浅香山小2・3年、<中区>東深井小5年、深阪小1年、<西区>鳳南小5年、<南区>福泉中央小1年、三原台小1年、原山ひかり小1年、宮山台中1年、<北区>長尾中2年、<美原区>美原中1年であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。

12月30日から1月5日分について、前回暫定報告と申し上げたが、最終報告値も同じであった。